

■ 気象

これまでの経過を振り返ると、1月上旬は冬型の気圧配置が続き、雪の降る日が多かった。また、強い寒気が南下し寒い日が続いた。中旬から下旬にかけて一時的に冬型の気圧配置となるが長続きせず、天気は周期的に変わった。平均気温は平年並で、降水量は少なく、日照時間は多かった。

2月は、晴れの日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置の影響で雪の日が多かった。平均気温、降水量、日照時間は概ね平年並だった。

3月上旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わった。中旬は低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。平均気温が平年より高く、日照時間が上旬は平年より多く中・下旬は少なかった。降水量は上旬が少なく、中・下旬は多かった。

なお、野菜研究所における消雪日は、平年より8日早い3月6日、県南果樹センターは平年より18日早い3月2日であった。

半旬別平均気温(八戸アメダス)

